

教科目名 基礎演習Ⅱ (Basic Exercise Ⅱ)

学科名・学年 : 情報工学科 2年

単位数など : 必須 1単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 平岡 透

授業の概要			
本授業では、情報工学科の専門科目を十分に理解できるように、基礎となる数学および物理の力を養う。授業は各自か問題を解く演習形式で行う。自ら考えることにより、数学や物理に対する理解と毎日の勉強の習慣づけを行う。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(B1)
(1) 物理と数学の復習を行い、基本の確認と弱点の補強を行う。(定期試験と授業中成果)			
(2) 物理と数学の授業に連動した応用問題の演習により、内容の理解を深める。(定期試験と授業中成果)			
※ 授業中成果とは、各自が解いた問題の成果である。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	物理Ⅰ 直線運動	○基本の確認と弱点の補強を行う。	【理解の度合い】
2	運動の法則		
3	いろいろな直線運動		
4	運動量		
5	力学的エネルギー		
6	平面・空間での運動		
7	平面・空間での運動		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	数学 後期中間試験の解答と解説 数列とその和	○自分の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。 ○基本の確認と弱点の補強を行う。	【理解の度合い】
10	数列とその和		
11	無限数列		
12	整式の導関数		
13	関数の増減		
14	いろいろな関数の導関数		
15	前期末試験		【試験の点数】 点
	前期末試験の解答と解説	○自分の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。	
履修上の注意	毎回、自ら解いた過程は保存しておく。		【総合達成度】
教科書	田中富士男編著「新編 高専の物理問題集(第3版)」(森北出版) 田代嘉宏編、「新編 高専の数学2 問題集」, 森北出版		
参考図書	学校で使用した物理と数学の教科書		
自学上の注意	授業に集中し、授業中内でわからなかった部分を解決すること。		
関連科目	工学演習Ⅰ, 工学演習Ⅲ, 微分積分Ⅰ, 線形代数, 基礎数学Ⅰ, 基礎数学Ⅱ		
総合評価	達成目標の(1)~(2)について、2回の定期試験で評価する。 総合評価 = (定期試験) × 1.0 再試験は、総合評価が 60 点に満たない者に対して一度のみ実施する。		